

教育費の父母の負担の軽減します!!



給食費の値上げに反対 学校給食の補助制度を

この間、一番く父母負担を増やしたのは、今年4月の学校給食費の値上げです。

食料費が高くなっているのはわかりますが、全国では給食費への補助制度をつくる市町村があちこちにできました。白糠町は、小中ともに給食費は無料です。

「子どもの貧困が深刻な事態になっている。せめて値上げ分は市が補って、父母負担を増やさない」と質問しました。

学校給食費の補助制度の創設をめざしてがんばります。

就学援助 入学準備金は大きく前進

経済的に厳しい子どもたちの教育費を補助するのが「就学援助」、毎月の教材費や学校納付金、給食費、修学旅行費、入学準備金などがあります。しかし、入学準備金などが支払われるのは入学後。制服代にもランドセル代にも使えませんでした。

「入学前に前倒ししても長い目で見れば事業費が増えるわけでもない。親も助かる。なぜやらないのか。」と求めてきました。他の会派の議員も「村上議員の言う通り」と前倒しを一緒に要求、来年の中学入学生から、入学前支給に変わることになりました。小学校入学生はその一年後に切り替わる予定で



す。あわせて、村上議員が強く求めていた入学準備金の増額は、一足先に今年の4月から実現しました。

憲法で保障されている義務教育は本来は無償のはずなのに、実際に子どもが学校に通うようになると、教育費の保護者負担は大変なものです。村上かずしげ議員は、繰り返し議会のなかで教育費の父母負担の軽減を求めて質問してきました。

共産党は提案します

子育て・教育の重い負担を軽減する

- ① 制服代、教材費・給食費を含めて、義務教育の完全無償化をめざす。
- ② 大学授業料の半減化をめざす。給付型奨学金は70万人に拡充する。貸与型の奨学金は全て無利子にする。
- ③ 認可保育園の増設と保育士の待遇を抜本的に改善する。

来年の統一地方選挙と参議院選挙の、「子育て・教育」に関する公約を紹介いたします。



就学援助入学準備金が倍増

小学校	20,470円→40,600円
中学校	23,550円→47,400円



市議会議員

村上和繁